



第40回運営推進会議

看護小規模多機能型居宅介護事業所るぴなす

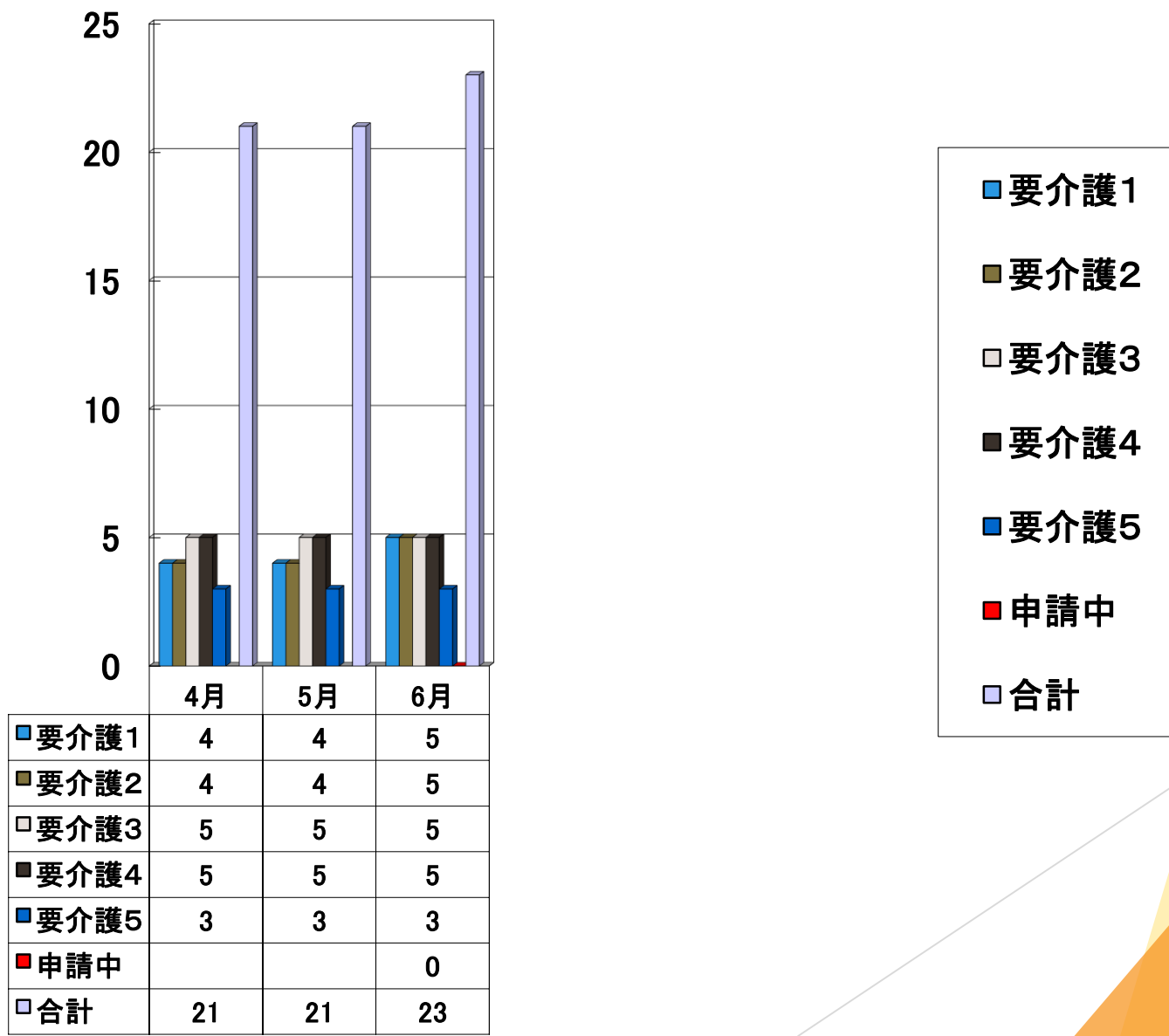
令和元年5月29日

第40回運営推進会議

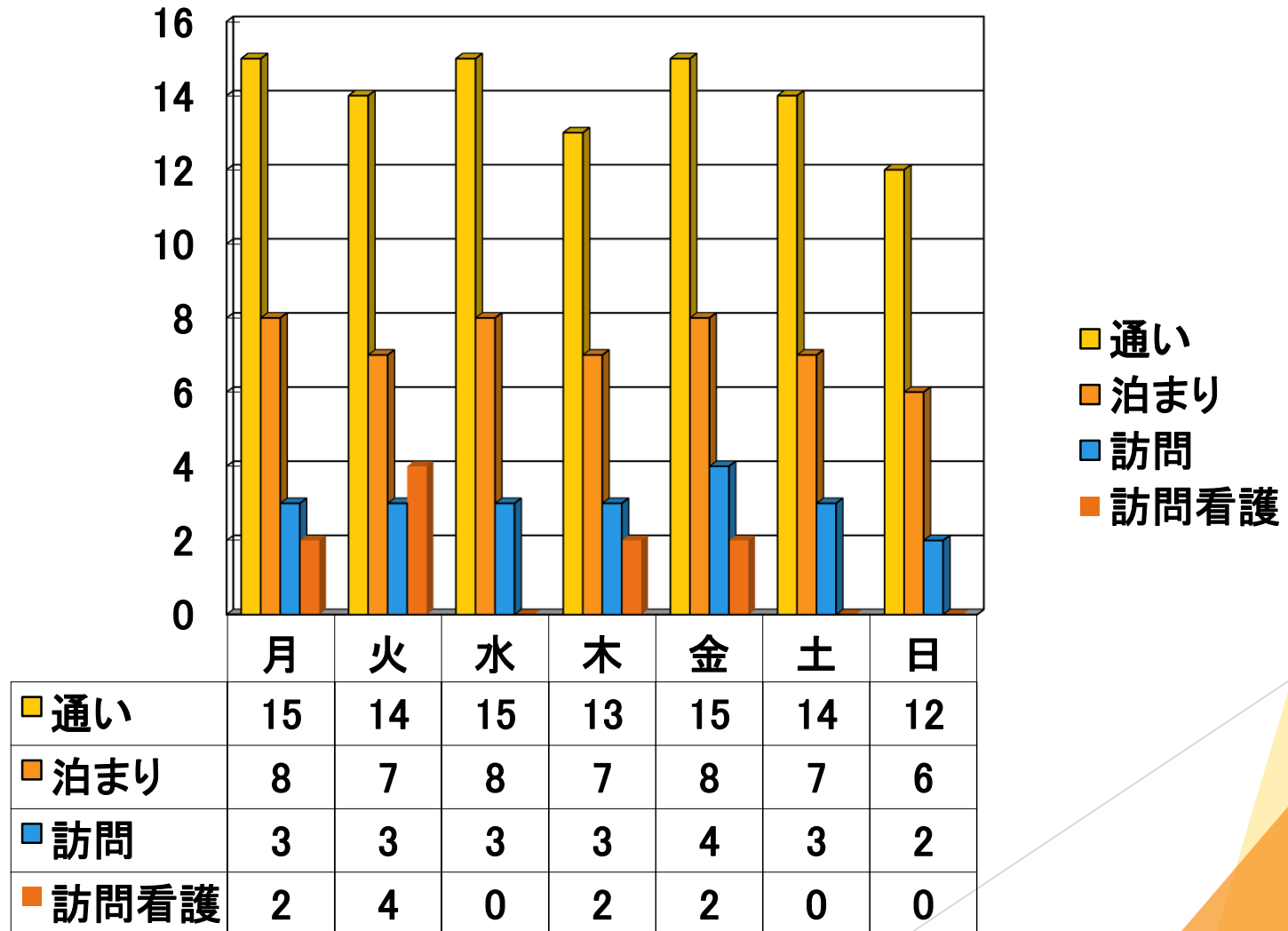
- るぴなすご利用者現況報告
- 新規ご利用者紹介
- 活動報告
- その他質疑応答・要望等

登録利用者数

平成31年4月～令和元年6月



令和元年5月 曜日別利用者数



第40回運営推進会議

看護小規模多機能居宅介護事業所るぴなす

開催日時：令和元年5月29日(水) 18:00～

出席者：自治会長・目黒様，民生委員・大嶋様 地域包括支援センター山潟・小石様
通所介護ご家族・青木様義妹様
看護小規模多機能ご家族・高橋様
法人代表・斎藤先生，法人総務・物江，看護小規模管理者・小林
通所介護管理者・遠藤

1、ご利用者現況報告

○登録利用者数

○曜日別利用者数

ご希望やご都合に応じ、通い・泊まりの人数には変動あり。

2 新規ご利用者

N・A様

3 活動報告

○行事、日頃の様子をパワーポイントで写真を見て頂きながら報告

- ・日頃の様子・・・リハビリ、朝礼に参加、食器洗い
- ・役割・・・毎日シルバーカーを押して建物の裏に回り、丁寧に根が残らないように午前午後、何日もかけてきれいにして下さった。
- ・るぴなすファーム・・・目黒様、栗山夫婦様他、寒い時から土壌掘り起し準備され、ゴールデンウィーク明けに苗（じゃがいも、ミニトマト、ピーマン、なす、さつま芋）を植え元気に育っている。見学や会話の様子。
さつま芋は根が出るまで一週間水やりをし、あとは自分の力で栄養を取りに行くとのこと。
- ・散歩・・・天気が良いので外へ出て日光浴。栗の木公園のつつじを見に行った。

4 今後の予定

5、その他ご意見等

- ・るぴなすの畑作りをして下さった栗山様は退職後に自分で勉強して、畑をいくつかやってお
りプロ顔負け。きれいに土を作って肥料もやり、素晴らしい作物ができるはず。さつま芋は
高級な紅はるか。さくらんぼにも肥料をくれて生き返った。畑の話は夜の茶の間で出て始ま
った話。地域の方に関わって頂いてありがたい。

- ・4月中旬から障がい者就労支援でそうじに来て頂き、マンパワーを借りて、私たちも見守りしていく。今は職員と一緒にして、まだ時間がかかりそうだが行く行くは一人でできるように、そして仕事をして生活できるように、見守っていききたい。
- ・病院から退院を急かされて介護認定の申請に包括支援センターに来られる方が増えている。地域医療構想で、病院何日の入院と決まった。みどり病院の包括ケア病棟も60日と決まっている。出先を探して相談が行く。自宅で何とか、皆家にいたい。施設では七夕のお願いに家へ帰りたいたいと書く方が多い。重度でも家にいれるようにしたいが、反対する家族がいると難しく、一人暮らしの方が希望が叶う場合がある。
- ・アパートの2階に住んでいるが、奥さんが車椅子生活になったので1階に移りたかったがそのアパートは古い為移れず、近所の1階を探している例。
- ・玄関で座り間違えて腰を痛めボルタレン坐薬を処方されたが、使い過ぎてしまい吐き気が出て、みどり病院入院。認定見直しする例。
- ・要支援ではデイへ週1回しか行けず、もっと行きたいが、お茶の間は月1回あっても自分で行かないといけない。介護認定は重くないが家にいても何もなく、居場所があるといいが。どういうものが良いのか。常設型のお茶の間があると良い。女性は会話が目的にもなるが男性はそれだけでは来ない。目的がはっきりしていると良いが。何が良いか。麻雀、お酒、カラオケ、映画、介護保険は使わず。移動の問題、食事、場所の問題。
- ・潜在的な人を掘り起こす。フレイルチェック。意識を変えさせる。新潟市は東大と組み、6/13からモデル事業でフレイルサポータートレーナー。勉強したが、全部こなすのは年配の方は理解が難しい。一人チェックするのに時間がかかり難しいと思った。

- 包括支援センターで健康教室、介護予防。ウエルシア薬局から血管年齢の体験が大人気だった。薬剤師さんは積極的に関わってくれる。興味のある、意欲的な人は出て来られる。
- 元気高齢者が日本を支えていかなければならない。団塊の世代がもうひと踏ん張りして2040年を迎えましょう。

今後の予定

- ◆ 避難訓練 6月6日（木）14：00～
- ◆ お誕生会

ありがとうございました(*^_^*)

